

笑い太鼓

卵新聞



ここは交通事故や脳出血などで障害を負った人たちの社会参加を支援する作業所です。

発行者
豊橋市東田仲の町57番地
NPO 法人 笑い太鼓
高次脳機能障害者支援センター
Tel 0532-63-6644

平成23年1月11日
第116号

明けましておめでとうございます。
今年もよろしくお願いたします。

1月の予定

- 1月1日(土) ~ 4日(火)まで 休み
- 5日(水) しごと始め ゆとりの日(書道教室)
- 7日(金) ゴールデンロータリー 太鼓演奏
- 9日(日) 東田校区成人式 太鼓演奏
- 10日(月) 休み
- 11日(火) 卵配達日
- 12日(水) ゆとりの日(絵画教室)
- 14日(金) 家族会
ゴールデンロータリー 卵販売
- 18日(火) 卵配達日
- 19日(水) 東田仲の町公園 掃除
- 25日(火) 卵配達日



100人位い
あじかった M.H



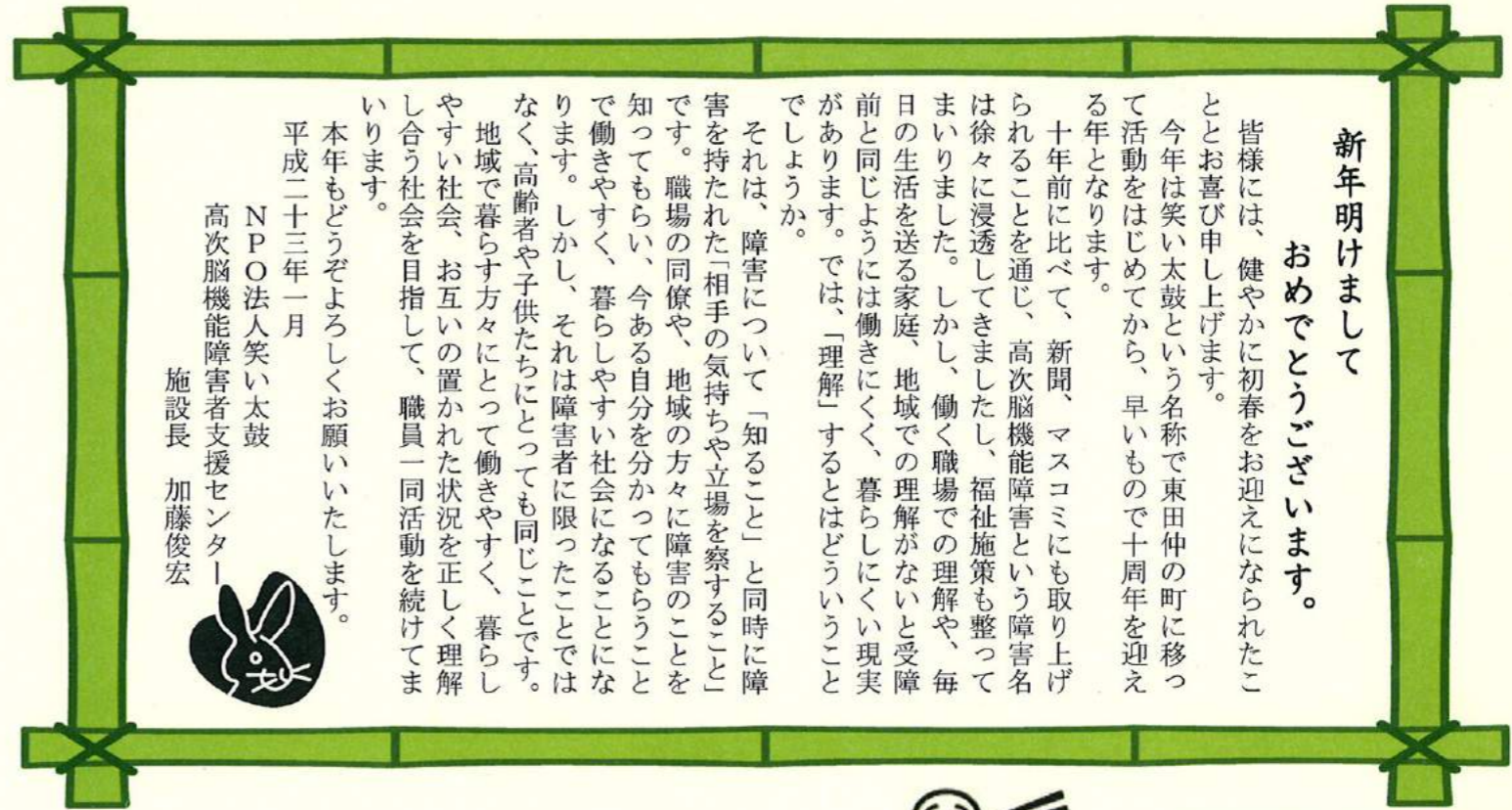
《アピタバザーのお知らせ》

- ・ 日時：2月3日(木)~7日(月)
- ・ 場所：アピタ向山店 2F



手作り品など 盛りだくさん..

ぜひお越しください ♡♡



新年明けまして

おめでとーございませう。

皆様には、健やかに初春をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。
今年はい笑い太鼓という名称で東田仲の町に移って活動をはじめから、早いもので十周年を迎える年となります。

十年前に比べて、新聞、マスコミにも取り上げられることを通じ、高次脳機能障害という障害名は徐々に浸透してきましたし、福祉施策も整ってまいりました。しかし、働く職場での理解や、毎日の生活を送る家庭、地域での理解がないと受障前と同じようには働きにくく、暮らしにくい現実があります。では、「理解」とはどのようなことでしょうか。

それは、障害について「知ること」と同時に障害を持たれた「相手の気持ちや立場を察すること」です。職場の同僚や、地域の方々に障害のことを知ってもらい、今ある自分を分かってもらうことで働きやすく、暮らしやすい社会になることとなります。しかし、それは障害者に限ったことではなく、高齢者や子供たちにとっても同じことです。地域で暮らす方々にとって働きやすく、暮らしやすい社会、お互いの置かれた状況を正しく理解し合う社会を目指して、職員一同活動を続けてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いたします。
平成二十三年一月

NPO 法人 笑い太鼓
高次脳機能障害者支援センター
施設長 加藤俊宏



もちつきをしました!



12月28日(火)、毎年恒例の「もちつき」をしました。
今回は、名古屋の「サポートセンター」と、岡崎の「笑い太鼓」と合同で行いました。
豊橋の「笑い太鼓」も合わせると総勢約100名での 大もちつき大会 となりました。
ついてはちぎり... ついてはちぎり...
あつという間にみんなの胃袋に!
おなかいっぱい食べました。



《よいしょ!よいしょ!》



《つきたてはおいしいなあ〜》

・ きなこもちがおいしかった M.A
名古屋の人がとん汁を
作ってくれてあじくおいしかった Y.K

「なるほど!なつとく!高次脳機能障害」
日時... 二月十二日(土) 名古屋会場
二月十三日(日) 豊橋会場
講師... 中島 恵子氏(帝京平成大学教授)
★問合せ: 066-33330
ほか

